

# 木戸 あきらの市民交流会 “今! 知りたいこと!” 講座

## 第1回: 「臨海部・石油コンビナートの防災は大丈夫?」

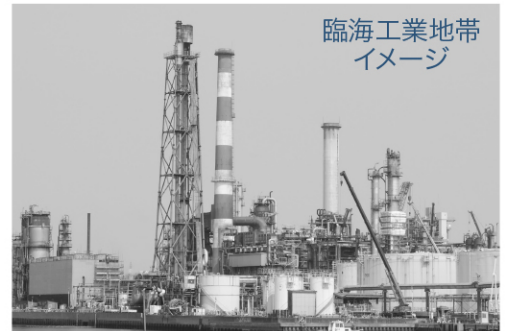
熊本の地震で被害にあわれた方々の一日も早い復興を心からお祈り申し上げます

カモン高石の建設、総合避難訓練、南海中央線の整備など高石市は内陸部の防災に力を入れてきました。津波対策も避難ビルを設置するなど高い波への対策は講じられています。

しかし、高石市沿岸部の前には臨海工業地帯石油コンビナートが全面に横たわっています。津波が石油を含んだ波になった場合のシミュレーションはなされているのでしょうか?

仮に、熊本型の地震が高石市を襲った場合、度重なる余震で堤防が崩れないのか? 石油が流れ出て高石市内に押し寄せてくれば、たとえ低い波であっても一面が燃えるのではないのか? カモン高石(市役所横 西取石6丁目)に向かって逃げることが最良となっているが、火に囲まれる前にさらに遠くに逃げる必要があるのではないかと疑問は広がります。

石油コンビナートの防災について高石市は詳細な情報を持ちあわせていないと思います。これは高石市だけが悪いわけではなく、そもそも「管理は大阪府、実行責任は企業」という制度に原因があるのだと思います。この課題については、大学でも国の機関、消防などと協力して石油コンビナートの防災についての検討、研究は進んでいます。



臨海工業地帯  
イメージ



そこで、来る7月23日(土)15時30分から  
パンセ羽衣大会議室(定員100名)において、  
大阪大学大学院(専門: 沿岸防災)青木伸一教授を  
招いて、「臨海部石油流出防災」をテーマに  
“今! 知りたいこと!” 講座を開催したいと思います。

高石市民の皆さん、奮ってご参加ください。

※お手数ですが、会場の都合により、事前に参加申し込みをお願いします。

### 木戸 あきらの市民交流会 申込書

“今! 知りたいこと!” 講座 第1回 「臨海部・石油コンビナートの防災は大丈夫?」に、参加申し込みます。

ご住所: \_\_\_\_\_

氏名: \_\_\_\_\_

お電話番号: ( ) \_\_\_\_\_

宛先: 木戸あきら事務所…TEL/FAX : 072-262-1851

※当日ご参加いただけなかった皆様には、別途開催します「木戸あきらの議員活動報告会」で内容紹介いたしますので、こちらの方もご参加ください。



木戸 あきらの市民交流会

# “今! 知りたいこと!” 講座



Shinichi  
Aoki



Akira  
Kido

## 第1回：『臨海部・石油コンビナートの防災は大丈夫?』

開催日時

7月23日 土

開場時間…15:30

開演予定…15:40

終了予定…17:20

開催場所

パンセ羽衣 (羽衣公民館) 大会議室

高石市羽衣1丁目11-22  
TEL:072-265-3227

講演者

大阪大学 大学院 教授 青木 伸一 (58歳)

高石市東羽衣在住。大阪大学大学院工学研究科卒、豊橋技術科学大学教授を経て現職。専攻は、海岸工学、沿岸防災、沿岸環境。国土交通省海岸委員会委員、土木学会海岸工学委員長、豊橋技術科学大学名誉教授を兼職。

進行役

高石市議会議員 木戸 晃 (60歳)

中央大学法学部法律学科卒、商社伊藤萬株式会社勤務を経て市議会議員に。平成23年高石市長選挙に出馬。平成27年度市議会議員に復職(3期目)。特別養護老人ホーム及び小規模多機能型居宅介護施設 理事長を兼職。東日本大震災復興支援として企業とコラボしてコンテナハウスを寄付、現在も大船渡市でコミュニティーカフェとして運営中。

《予告》木戸あきらの市民交流会 “今!知りたいこと!” 講座 第2回は、「住みなれた高石市で一生を終えられるか?」を予定しています(9月下旬開催)。